

平成15年度農作物有害動植物発生予察情報 注意報第1号

平成15年7月2日
山形県病害虫防除所

1 病害虫名 斑点米カメムシ類

2 対象地域 県下全域

3 発生量 多い

4 注意報発表の根拠

ア . 6月23~24日に行ったすくい取り調査の結果では、畦畔・農道等での確認地点率は50%（前年：30%、過去3年間平均：39.3%）とやや高く、水田内での確認地点率も14%（前年：16%、平年：7%）と平年より高い。

イ . アカヒゲホソミドリカスミカメの平均すくい取り虫数は、畦畔・農道等で2.4頭（前年0.8頭）、水田内で0.3頭（平年0.1頭）と多くなっている。

ウ . 6月30日現在、アカヒゲホソミドリカスミカメの予察灯での総誘殺数は、農業試験場24頭（平年3.6頭）、庄内支場36頭（平年12.3頭）と多い。また、園芸試験場予察灯にも671頭（前年206頭）誘殺されている。

エ . 今後の天候は、気温が平年並か低い、降水量は平年並の可能性が大きいと予報されている。

5 防除法

ア . カメムシ類の生息密度低減のため、出穂2週間前までに畦畔、農道、休耕田等の除草（草刈り、除草剤散布、耕耘）を徹底する。なお、刈り取った草は搬出する。

イ . カメムシ類の発生が多いところや前年斑点米が多かったところでは、補完防除として穗孕後期の防除を実施する。

ウ . 薬剤による基本防除時期は、穂揃期およびその7~10日後の2回とする。なお、粒剤を散布する場合は、穂揃期に湛水して散布する。

エ . 本年の早生品種の出穂期は、平年より2日程度早まることが予想されているため、「はなの舞」、「あきたこまち」等の早生品種では、草刈り時期、防除時期が遅れないように注意する。

オ . アカヒゲホソミドリカスミカメは移動性が高く、除草や薬剤防除は広域で実施すると効果が高まるので、関係者と十分連携を図り組織的に取り組む。

6 その他

農薬は使用基準を遵守し、事故のないよう適正に使用する。特に早生品種については収穫前使用日数に注意する。

山形県病害虫防除所 本 所 023-644-4241 FAX 023-644-4746 庄内支所 0235-78-3115 FAX 0235-78-3116	病害虫予察情報ファクスサービス FAX 023-644-4531 ホームページ http://www.jppn.ne.jp/yamagata/
--	---

